

宮式長
議員

エコヴィレッジ推進協議会のその後の進展は

町長 「バイオマス事業の協議を進めている」

問

「昨日、東日本大震災を機に、原子力発電に対しての是非が国内外で活発に議論されている。」

答

「携体制における方針を伺う。」

「標茶町においては、この地帯に大量に存在するバイオマス資源である家畜ふん尿をエネルギーとして活用することで再生可能エネルギー生産という貢献が可能である。一方で副産物である消化液を肥料として活用することで、環境負荷を軽減しながら雑草の繁茂を抑制し、かつ栄養価のすぐれた飼料生産に結びつけ、生産コストの抑制と牧草からの収入増が期待され、町内農業者あるいはJAにおいても関心が高まった。」

「我が標茶町でも本年度「エコヴィレッジ推進協議会」が発足され、太陽光・バイオマス事業等について慎重なる議論がなされていることと思う。立地や気象条件、産業構造等標茶町におけるさまざまな条件を加味しながらも、これからの標茶町におけるエネルギーに対するひとつの方向性を見出そうとしている。そのさなかであると認識している。「電力は必要だが原発に頼らない社会」を望む声が世論として聞こえる中、エコヴィレッジ推進協議会ではどのような協議が進められているのか伺う。」

「またバイオマス事業を検討するにあたり、JA、酪農業経営者との連携は必要不可欠であるが、今後の連

携体制における方針を伺う。標茶町においては、この地帯に大量に存在するバイオマス資源である家畜ふん尿をエネルギーとして活用することで再生可能エネルギー生産という貢献が可能である。一方で副産物である消化液を肥料として活用することで、環境負荷を軽減しながら雑草の繁茂を抑制し、かつ栄養価のすぐれた飼料生産に結びつけ、生産コストの抑制と牧草からの収入増が期待され、町内農業者あるいはJAにおいても関心が高まった。しかし、プラント本体と時には送電コストに対しても多額の投資が必要になることが最大の障害であり、これらの解消に向けた取り組みを情報収集や研修と並行して行っている。現在、町内1法人が国の制度を活用しながら導入しようと取り組んでいるが、これから解決しなければいけない課題もあると聞いている。JA、生産者との連携体制は、協議会あるいは内部組織である専門部会とともに、それぞれの役割分担を認識しつつ、議論しながら連携の輪をつくっていききたい。」

その他の一般質問

本多 耕平 議員

防災基本協定の具体的な計画は

問

「釧路管内8市町村防災基本協定が、去る9月24日調印されたが、本町として具体的にどのような支援、応援体制を構築する計画か伺う。更に最大津波を予想した場合、特に塘路湖の海抜の関係上本町への影響は考えられないか。」

答

「協定では、被災した市町村が独自で十分な応急措置が困難な場合、他の連携市町村に応援要請ができるものとしており、具体的には人的支援、資機材及び生活必需品等の提供、代替事務所、避難所等の提供を想定している。」

「最大津波の場合、本町は、海岸線から十数キロメートルまでの予測となつているので、影響はきわめて低いと判断している。」



標茶河川防災ステーション

深見 迪 議員

町地域防災計画の見直しは

問

「釧路管内8市町村防災基本協定」が締結されたが、これによる地域防災計画の見直しはあるか。また、特に、大地震、大津波等の被災民受け入れなどについてはどうか。」

「協定に基づく町内会、住民組織等、民間がすべき新たな事柄を想定しているか。」



－ 災害用の備蓄物資 －

町内避難所の学校、公共施設に、食糧、飲料水、毛布、トイレ、被服、救急医療品など、避難所として当然具備すべき物が十分使用できる状況になっているか。

答 協定締結とともに設置された「釧路管内地震・津波防災対策連携会議」において、今後、市町村等関係機関の連携調整を行うが、支援方法等検討していく過程で、町防

災計画の内容見直しが必要となった場合に行うこととしている。

他市町村からの災害支援要請があった場合は、民間ボランティア活動や、避難所施設提供などに協力要請を行うことも想定される。

今後更に避難所の機能充実のため非常備蓄品、資機材等の調達、配備を図っていきたい。

第四回定例会で次の方が議長から提案され選挙の結果、「標茶町選挙管理委員」に

藤田 榮一
河野 哲了
廣瀬 龍彦
本多 崇史

「選挙管理委員補充員」に

松本 美代子
佐々木 幹彦
蜂谷 梢
寺島 喜寿

の各氏が決定致しました。

深見 迪 議員

本年度の町政執行方針の進捗状況を聞く

問 第一回定例会での町政執行方針の中で、主要な施策はどのように達成できているか。

特にさくら保育園と幼稚園の合築と本年度中の使用については予定通り進んでいるか。

また、バイオマスを中心とした環境への負荷軽減対策の検討は具体的にどのように進んでいるか。その進捗状況、経過など具体的に伺う。

答 さくら保育園については1月15日から、幼稚園については16日から新しい園舎で保育を開始する予定である。

家畜ふん尿を原料とするバイオガスプラントの導入を主眼とした取組を意識して今年度の町政執行方針としたが、8月に「標茶町エコヴィレッジ推進協議会」（会長、池田町長）を設立

し活動の主体としている。

これまでは、研修会の開催や情報収集活動を行ってきたが、これを引き続き行う中で畜産農家の理解を得ることに努め、補助や融資制度等の充実や送電網整備に関する要請活動も引き続き行い、いま現在、プラント建設に関心を持って生産者の後押しを図り、その後の展開につなげていきたい。



－ 新しい園舎で遊ぶ 園児たち －

深見 迪 議員

就学援助の支給対象に「クラブ活動費」「生徒会費」「PTA会費」を加えては

問 就学援助の支給対象に「クラブ活動費」「生徒会費」「PTA会費」の新3項目が2010年度

から加わり、国は、2011年準要保護世帯への交付税措置を導入した「通知」を出したがそれをどのように受けとめているか。

全道の実施状況を見ると、新3項目を対象費目としている自治体の方が多いが、学校に通う限りこれらは必要経費であることから、就学援助の目的からいっても本町では新3項目を支給対象に入れるべきではないか。

答 就学援助制度については、国の法改正により、クラブ活動費・生徒会費 PTA会費が追加されている。

現在、町の実績額として一定の教育水準の確保と教育効果は発揮しているものと判断しており本町では、先の「クラブ活動費・生徒会費・

PTA会費」の項目については追加の改正をしていない。

バランス、トータルで協議をしていかなければならないので、いろいろと勘案しながらこれからの課題にしていきたいと思う。



予算審査特別委員会
総括質疑

本多 耕平 議員

●本町における各小中学校・保育園・公民館のトイレの便座保温設備が一部実施されていない。早急に整備すべきと考える。

舘田 賢治 議員

●基金の積立金が多くなってきているが住民サービスに問題はないのか。

●標茶農協の中期計画目標達成の為に町の財政投資が必要ではないか。

第四回 定例会

専決処分

24年度補正予算

衆議院議員総選挙費の経費について、一般会計補正予算第3号の専決処分の報告があり、議会はこれを承認しました。

補正額1,162万7千円。

なおこの補正の財源は道の委託金として繰り入れされました。

工事請負契約の締結について

標茶中茶安別線道路改良舗装工事

・契約金額

1億1,172万円

・契約の相手方

株式会社 住友建設